

[畜産部門 令和5年度 普及に移す研究成果]

事 項 名	サイレージ用トウモロコシの奨励品種「Z-corn950 $\alpha$ 」の特性		
ね ら い	本県に適するサイレージ用トウモロコシの品種（極早生）を選定するため、流通品種の生育特性及び収量性を検討した結果、「Z-corn950 $\alpha$ 」が既存の奨励品種と比較して、耐倒伏・折損性及び耐病性は同等で、収量性が優れることが明らかになったので、奨励品種として普及に移す。		
内 容	<p>1 来歴 国内で育成された品種であり、平成27年から全国酪農業協同組合連合会から販売されている。</p> <p>2 主な特性（標準品種「おおぞら」との比較）</p> <p>(1) 初期生育：同程度である。  (2) 絹糸抽出期：2日遅い。  (3) 生育日数：2日短い。  (4) 稈長、着雌穂高及び稈径：同程度である。  (5) 耐倒伏・折損性：同程度である。  (6) 病害：同程度である。  (7) 乾物収量：多収である。  (8) 早晚性：極早生品種である。</p>		
期待される効果	サイレージ用トウモロコシの安定生産に資する。		
普及上の注意事項	なし		
問合せ先 (電話番号)	畜産研究所 酪農飼料環境部 (0175-64-2791)	対象地域 及び経営体	県内全域の養牛 農家等
発表文献等	なし		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「Z-corn950α」の生育特性

(令和2～4年 青森畜産研)

早晚性	品種・系統名	年次	初期生育	絹糸抽出期 (月/日)	刈取日 (黄熟期) (月/日)	生育日数 (日)	稈長 (cm)	着雌穂高 (cm)	稈径 (cm)	倒伏		折損 (%)	不稔割合 (%)	病害	
										30-60° (%)	60° - (%)			すす紋病	紋枯病
														(%)	(%)
極 早 生	Z-corn 950α	令和2年	8.0	7/30	9/10	122	288	108	1.54	0.0	0.0	0.9	1.0	2.7	31.8
		令和3年	7.3	7/25	9/6	119	253	103	1.56	12.5	7.7	0.0	3.8	4.0	5.8
		令和4年	6.2	7/29	9/8	121	244	89	1.51	0.0	2.9	0.0	5.6	1.7	36.9
		平均	7.2	7/28	9/8	121	262	100	1.54	4.2	3.5	0.3	3.5	2.8	24.8
	おおぞら (標準)	令和2年	7.7	7/31	9/9	121	280	113	1.58	0.0	0.0	0.9	1.9	2.0	29.7
		令和3年	6.5	7/22	9/6	119	261	98	1.52	4.9	4.9	1.0	3.8	2.5	16.6
		令和4年	6.0	7/26	9/15	128	242	84	1.59	0.0	17.2	0.0	26.0	2.7	41.1
		平均	6.7	7/26	9/10	123	261	98	1.56	1.6	7.4	0.6	10.6	2.4	29.1

- (注) 1 初期生育は9（極良）～1（極不良）とする評点法による。  
 2 すず紋病は被害程度と被害面積に応じて1（無）～9（甚）とする評点法による。  
 3 紋枯病は菌核が形成された個体の全個体に対する割合。  
 4 令和3年：8月9日（降水量53.0mm、最大風速7.2m/s）、8月10日（降水量103.5mm、最大風速11.9m/s）に暴風雨、令和4年：8月2日に暴風（風速9m/s）  
 5 倒伏：それぞれ30°以上60°未満、60°以上倒伏した個体の全個体に対する割合。

表2 「Z-corn950α」の収量性

(令和2～4年 青森畜産研)

品種・系統名	年次	乾物収量 (kg/10a)				乾物率 (%)			雌穂割合 (%)	TDN 含有率 (%)
		茎葉	雌穂	総重	標準比	茎葉	雌穂	全体		
Z-corn 950α	令和2年	722	980	1,702	108	20.3	53.9	31.7	57.5	71.0
	令和3年	671	783	1,454	99	24.5	51.5	34.1	53.8	70.0
	令和4年	721	756	1,477	115	24.0	51.3	33.0	51.1	69.3
	平均	705	840	1,544	107	22.9	52.2	32.9	54.1	70.1
おおぞら (標準)	令和2年	710	860	1,570	100	22.9	57.6	34.2	54.8	70.3
	令和3年	703	766	1,469	100	30.8	56.4	39.9	52.0	69.5
	令和4年	663	624	1,287	100	26.1	60.2	35.9	48.2	68.5
	平均	692	750	1,442	100	26.6	58.1	36.7	51.7	69.4

- (注) 1 TDN含有率推定式： $56.0 + 0.26 \times \text{雌穂割合}$   
 2 標準比は標準品種の総重を100とした指数。

耕種概要

- 試験場所  
畜産研究所内圃場
- 播種期  
令和2年5月11日、令和3年5月10日、令和4年5月10日
- 施肥量 (10aあたり)  
基肥 (化学肥料)  $N-P_2O_5=10-10kg$ 、牛ふん堆肥 4,000kg、炭カル pH6.0～6.5 矯正量
- 栽植密度  
8,080本/10a (畝間75cm、株間17cm)
- 面積、区制  
1区  $9.9m^2$ 、3反復、乱塊法配置